

編集後記

HONDAが本格的なF-1活動を休止してから早くも1年がたちます。あのレースの興奮もかなり以前のことものようにも思えますし、またつい昨日のことものようにも思えて、テレビ中継の画面の中に仲間の姿を探してしまうこともあります。

F-1活動を展開していた10年の間、内外の多くの方から熱いご支援と励ましを送って頂き、心から御礼申し上げます。

その活動の間、様々な方々からF-1についての話題を求める要請がございました。そういったご要望に対し、出来る限りの努力をしてきたつもりではございますが、ごく限られた時間で結果の求められるレース活動の中で、十分お応えできなかったことを深くお詫び申し上げます。

活動を休止して間もなく、市田さんをはじめとしてチームメンバーの方々にお願ひし、この度、「F-1特集号」を刊行するはこびとなりました。

F-1活動の全容を紹介していただくため、従来の「HONDA R & D Technical Review」の枠から少し踏み出して技術以外の活動についても投稿いただいております。

新しい開発業務に就き、忙しい毎日の中で執筆していただいたチームの方々へ感謝するとともに、この特集号を刊行することで、少しでも社内外の方々のご理解とご見識をいただければ幸いに存じます。

(奈良坂)

特集号

編集責任者 市田 勝己
TR編集委員会 奈良坂 伸
照井 一郎
顧問 佐野 彰一
事務局 三富 義久

HONDA R & D Technical Review

1993年11月1日発行 「F-1特集号」

(禁無断転載) ©

発行所 株式会社 本田技術研究所

発行人 菊地 省三

取扱所 〒351-01 埼玉県和光市中央1丁目4番1号
株式会社 本田技術研究所 和光研究所

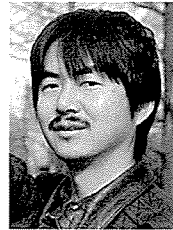
編集協力 〒101 東京都千代田区猿樂町2丁目1番8号
株式会社 フロンテア

◎ 本誌F-1記事のお問い合わせは本社広報部へお願いいたします。著者への直接のお問い合わせは、固くお断り申し上げます。

表紙説明

花が咲き乱れた季節が去って、次の春にはもっと大きな花をつけるために冬を過ごす草木のように、HONDAのF-1の次の春を楽しみにしている私です。

表紙は、お世話になったドライバーをパターン化した上に、花畑の様にエンジンを並べて見ました。ハイテクの魂と化したこの10年のレースを戦ったエンジン達の向こうに、新たな挑戦の始まりが見えて来ませんか？



デザインAスタジオ
植野茂生
